

過去の「事実」は誰も変えられないが、過去の「持つ意味」は自分次第で変えられる。

新チーム発足以降、新人戦こそ惜敗だったが、秋季大会、1年生大会と大敗し公式戦は未勝利に終わり、練習試合の戦績も大きく負け越しました。この悔しいチーム戦績・個人成績の結果は、紛れもない『事実』であり、誰ひとり、一生かけても変えることはできません。しかし、この『事実』を「ただ悔しかった」「仕方がない」「まあこんな事もある…」で終わらせてしまうのか、「この大敗があったから今がある!」「この経験をバネに自分達は変わった!」「下剋上の原点!」とするのかは、自分たち次第です。過去は『事実』は不変だが、その『持つ意味』は変えることができ、来春以降の躍進、「下剋上」につなげたい。厳しい冬のトレーニングを経て、個人・チームとして過去を変え、その先に待つ未来を変えていく挑戦をする!!

# 1年生大会 初戦敗退

## 目指すはひと冬での『下剋上』のみ

◎山口県1年生高等学校野球大会 防徳地区予選 1回戦 対 徳山商工 (下松工G)

チーム	1	2	3	4	5	6	7	8	9	R
下松工業	0	0	0	0	0	0	0			0
徳山商工	4	0	2	6	1	1	×	(7回コールド)		14

投手名 (学年)	回	球数	被安打	与四死球	自責点
山本 1	1回	33	3	3	4
那須 1	5回	109	8	4	8

長打:【二】末永(暖)

次代を占う1年生大会の1回戦は、無念の完封7回コールドで完敗となった。

先発は左腕の山本が務めた。山本は新チーム以降、球速以上に伸びを感じる直球、左特有の緩いカーブに磨きをかけ、課題の制球も徐々に克服しつつきていた。しかしこの試合では初回、先頭に安打を許すとそれ以降はボール先行の苦しい投球となり、4点を失う苦しい立ち上がりになった。2回からはエースナンバーを背負った右腕・那須にスイッチした。那須は持ち味の長身から繰り出す威力ある直球が楽しみな投手だが、まだまだムラがあり投球をまとめることができなかった。4回には5安打を集められ6点を失い、苦しいゲーム展開となった。

1年生は新チームから主力として上位打線を打つ選手が多く、打線の反撃が期待されたが精彩を欠いた。初回、夏から出場する2番末永(暖)が右中間に2塁打を放ち先制のチャンスを迎える。2死となり4番潮田が左前安打を放ち先制かと思われたが、惜しくも本塁でタッチアウトになり絶好の得点チャンスを逃した。その後は守備の悪い流れを打開できず、結果としてチームの安打はこの2本に終わった。

守備は3失策ではあったが、その他にも連携のまずさなど「記録に残らないエラー」が数個あり、冬場に基礎の徹底の必要性を感じる内容だった。

オフシーズン前最後の大会も秋の大会同様非常に悔しい結果に終わった。新チーム以降の公式戦は未勝利に終わり、失うものは何もなく、来春以降の『下剋上』を目指す。

打順	位置	選手名 (学年)	打数	安打	打点	四死球
1	⑥	松村 1	3	0	0	0
2	⑨	末永(暖) 1	3	1	0	0
3	②	中村 1	3	0	0	0
4	③	潮田 1	3	1	0	0
5	⑧	田中 1	2	0	0	1
6	⑦	高杉 1	3	0	0	0
7	③	森重 1	2	0	0	0
//	H	岩崎 1	1	0	0	0
8	④	黒金 1	2	0	0	1
9	①	山本 1	0	0	0	0
//	I	那須 1	3	0	0	0

### ☆来春に逆襲を誓うチームの近況



重点項目①:食べる!  
トレーニング後に、マネージャーの炊いたお米を毎日一合ずつ。まずは体を大きく!!

重点項目②:フィジカル強化  
ウェイトトレーニングも今冬の重点事項に。上半身・下半身ともこつこつ大きくする!



### ☆3年生のお別れ試合を行いました!

3年生の就職活動もひと段落し、11月5日(日)にお別れ試合を実施しました。改めて3年生の野球、チームや後輩への想いを感しました。父母会の皆様、どうもありがとうございました。

(6イニング制、現役チームがサヨナラ勝ち)



### ☆11月の練習試合日程

今シーズンの練習試合は残り2日です。ぜひ、足をお運びください。尚、天候や感染症予防の観点から急遽予定の変更がありますので、予めご了承ください。

日付	対戦校	場所
11/11(土)	舟入(広島)W 10:00~	下松工G
11/12(日)	②海田 ③崇徳(広島) 12:30頃~	崇徳G